

令和3年度 さいたま市立与野八幡小学校 自己評価書

校長 _____ 荒木 大輔 _____ 印

1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 学ぶことの楽しさやできた喜びを実感させる学習指導の充実（「自ら学ぶ子」の具現）
— 教育活動や各教科等の授業の状況
- (2) 安全・安心で潤いのある教育環境づくりと豊かな心をはぐくむ教育と指導体制の充実（「思いやりのある子」の具現）— 生徒指導・教育相談の状況 いじめの防止等の状況
- (3) 豊かなかかわり合いをはぐくむ教育の充実 — 特別活動等の状況
- (4) 体力向上・健康教育の充実（「たくましい子」の具現） — 体育的活動の状況
- (5) 教職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図る。 — 在校時間の軽減

2 評価結果について

- ・今年度はコロナ禍ではあったが、感染症対策を十分に行った上で授業参観や運動会、音楽会（映像で公開）等の行事を行い、保護者に児童の様子を見ていただく機会を設けることができた。
- ・一人一台タブレットパソコンの導入により、パソコンが日常の学習ツールとして活用できるようになったが、そのことは、保護者にもよく伝わっているようで「ICTを活用した授業の工夫」の肯定的な回答が昨年度より4%向上（97.2%）した。
- ・学習指導については、「一人ひとりにきめ細かく指導している」や「わかりやすいよう工夫して指導している」という項目が保護者の回答では、昨年度より3%（91.4%）、児童の回答では2%向上（94.1%）しており、コロナ禍ではあるものの、教職員が学習活動の工夫を行って実践した結果と考えられる。
- ・コロナ禍で友達との関わりをもつ行動が制限されることにより、「友達と協力して活動していますか」という児童アンケートの項目の肯定的回答は、5%低く（91.7%）なっている。これは、行事等は行えたものの、感染症対策を講じて行ったため、「従来の活動ができていないから」と感じた児童が多いと考えられる。
- ・昨年度から追加した、保護者アンケート項目「学校は、新しい生活様式に則って、すべての活動に取り組んでいる」では、肯定的回答が5%向上（98.0%）し、学校での感染症対策の取組について、理解をさせていただけていることがうかがえる。
- ・「子どもの悩みやトラブル等への適切な対応」「保護者の相談への誠実な対応」では、教職員と保護者の評価に昨年度は、隔たりが見られたが、教職員の素早い丁寧な対応により、保護者の肯定的な回答が97%となっており、改善が見られた。
- ・「あいさつ」についての保護者や児童、教職員の肯定的評価は、年々向上していて、進んであいさつできる児童は、確実に増えているが、保護者アンケートの記述欄では「全くあいさつが返ってこない」という意見も見られた。校内でのあいさつの状況が、地域にも伝わるように、その発信についても検討していく必要がある。
- ・教職員による「たくましい子の育成」や「体力づくりに励む子」の評価は、他の項目に比べ低い数値であるが、体力向上委員会を中心とした体力アップキャンペーン等の方策により、例年を上回った肯定的評価となった。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- 日々の学習指導の改善と充実
 - ・ICTを効果的に活用したさらなる授業の充実
- 基本的な生活習慣のさらなる充実
 - ・学校外でもきちんとあいさつできる習慣の定着

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。